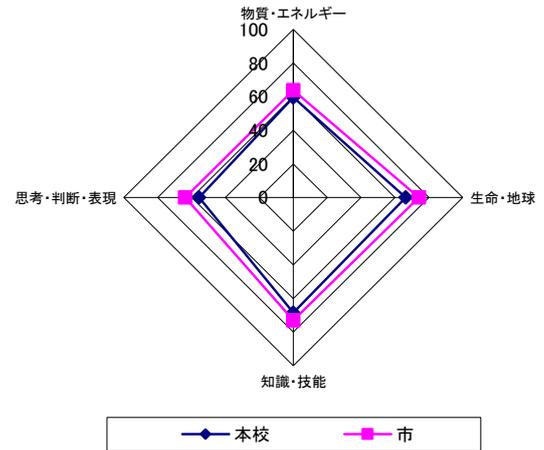


宇都宮市立東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	59.6	63.8	61.6
	生命・地球	66.3	74.1	73.3
観点別	知識・技能	68.5	73.0	71.3
	思考・判断・表現	55.6	63.8	62.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、59.6%であり、市の平均より4.2ポイント下回っている。</p> <p>○リトマス紙の反応と水溶液の液性についての問題では、市の平均を約13ポイント上回っている。</p> <p>●「電流のはたらき」において、実験の結果の違いから電磁石の力の強さを左右する要因を指摘する問題では、市の平均を約8ポイント上回っているが、ごみ処理場での電磁石の利用方法から電磁石の性質を指摘する問題では、市の平均を大きく下回っている。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験結果から要因を考える力は身に付いているため、電磁石の性質(電流の向きで極が変わること、電流の大きさや巻き数で磁力が変わることなど)を、具体的な事象と結び付けて理解させる指導を充実していく。 ・ごみ処理場における電磁石の利用のように、学習内容を日常生活や社会の中の事例に当てはめて考える学習活動を取り入れ、知識を活用する力を育成する。 ・本学年の学習内容はおおむね理解できているが、第5学年の既習内容に関しては定着に課題が見られた。今後は学年間のつながりを意識した復習を行い、基礎・基本の確実な定着を図る。
生命・地球	<p>平均正答率は、66.3%であり、市の平均より7.8ポイント下回っている。</p> <p>○「月と太陽」において、月・太陽・地球の位置関係や月の見える形について答える問題、また月の見える形が変わる理由について答える問題では、市の平均を約8ポイント上回っている。</p> <p>●「流れる水のはたらき」に関する問題では、「浸食」の意味や、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を推測する設問で正答率が低く、記述問題では無回答率も高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月や太陽の見え方や位置関係の理解を定着させ、図や模型で確認しながら月の見える形が変わる理由を自分の言葉で説明できる力を育てるなど、思考力と表現力の向上を図る。 ・「流れる水のはたらき」について、「浸食」の意味や三つのはたらき(浸食・運搬・堆積)の違いを具体的な事例や実験と結び付けながら理解させ、基本となる知識を身に付けさせる。 ・「予想—実験—結果—考察」の過程を重視した学習を通して、実験結果を根拠に筋道を立てて考察し、説明する力の育成を図る。